

平成25年 (2013)年

新たな交流の幕開け

11月4日(月・休)午後4時、ホノケ山トンネルを含む一般国道305号(河内く奥野々道路)が供用を開始しました。

供用開始に先立ち、南条文化会館で安全祈願祭が行われ関係者らで交通の安全と地域振興を祈りました。

会場をホノケ山トンネル奥野々側入口へ移しテープカットとくす玉開披を実施。また、保育所(園)の児童らによりカラフルな風船が大空に放たれ、おめでたい場に花を添えました。

その後、住民らが見守る中、通り初めが行われ、トンネル内に響き渡るタイヤの音を聞いた参加者らは、トンネルの完成を祝うと共に未来へ向けた新たな出発を喜び合っていました。



川野順万町長2期目初登庁

南越前町長選挙で無投票当選を果たした川野順万町長が、2月13日、初登庁。

役場庁舎前に並んだ職員から拍手で迎えられ、花束を手渡されました。

このあと、「人口減少と過疎対策が一番の重要課題。若者の流出防止や定住促進のため、しっかりと取り組みたい」と訓示を行い、新しいまちづくりをスタートさせました。



役場庁舎の耐震大規模改修工事が完成しました

平成23年度から2年間にわたり行われてきた役場庁舎の耐震大規模改修工事が2月をもって完成しました。

この耐震大規模改修工事に伴い、明るく広いロビーや待合室、エレベーター、太陽光発電システムなども整備しました。



地域おこし協力隊就任

多数の意欲ある若者から応募があり、面接などを得て、4月1日、地域おこし協力隊が就任しました。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。



お土産袋で観光アピール

北陸自動車道で福井県唯一のサービスエリア(SA)である南条SAは、毎日多くの観光客が利用しています。

町では、スマートフォンやタブレットを併設している南条SAの利用者を町内に呼び込むと、観光マップなどを印刷した土産袋を作成し、買い物客らに商品を手渡す際に使用してもらっています。

袋には町の観光情報サイトを携帯電話などで手軽に検索してもらおうとQRコードも掲載しており、お土産をもらった人などにも観光の情報を提供できるようになっています。

